

平成 27 年度公共用水域及び地下水の現況について

概要

環境基本法第16条において「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として、大気・水質等についての環境基準が定められている。

水質汚濁防止法に基づき実施した公共用水域及び地下水の水質の測定結果について以下に示す。

調査結果

1. 公共用水域の水質

(1) 水質の監視状況

平成27年度は、4水系、72河川、11ダム湖の計122地点で調査を実施した。

調査は、環境基準点で原則年12回、その他の地点で原則年4回の採水を行い、人の健康の保護に関する環境基準項目（健康項目）、生活環境の保全に関する環境基準項目（生活環境項目）等について調査した。

調査の実施主体は、国土交通省、(独)水資源機構、奈良県及び奈良市である。

調査地点数 () は、環境基準点数

水系名		大和川	紀の川	淀川	新宮川	計
河川	河川数	24	13	29	6	72
	地点数	51 (21)	16 (4)	34 (26)	9 (7)	110 (58)
湖沼	湖沼数	0	2	3	6	11
	地点数	0 (0)	2 (1)	4 (2)	6 (4)	12 (7)
地点数合計		51 (21)	18 (5)	38 (28)	15 (11)	122 (65)

(2) 環境基準の達成状況

①健康項目

健康項目（カドミウム、ひ素、鉛など27項目）は、測定を行ったすべての地点で環境基準を達成していた。

②生活環境項目

生活環境項目（pH、BODなど11項目）のうち有機性汚濁の代表的指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）は、河川57水域中48水域で、COD（化学的酸素要求量）は、湖沼7水域中5水域で環境基準を達成していた。

平成27年度生活環境項目（BOD・COD）の環境基準達成状況 (基準達成水域数/類型指定水域数)

	類型	基準値	大和川		紀の川		淀川		新宮川		計	
			達成率	地点数	達成率	地点数	達成率	地点数	達成率	地点数	達成率	地点数
河川	AA	1mg/l	-	0 / 0	100%	1 / 1	57%	8 / 14	80%	4 / 5	65%	13 / 20
	A	2mg/l	100%	4 / 4	100%	2 / 2	100%	12 / 12	100%	1 / 1	100%	19 / 19
	B	3mg/l	100%	2 / 2	100%	1 / 1	-	0 / 0	-	0 / 0	100%	3 / 3
	C	5mg/l	87%	13 / 15	-	0 / 0	-	0 / 0	-	0 / 0	87%	13 / 15
	小計		90%	19 / 21	100%	4 / 4	77%	20 / 26	83%	5 / 6	84%	48 / 57
湖沼	A	3mg/l	-	0 / 0	100%	1 / 1	0%	0 / 2	100%	4 / 4	71%	5 / 7
	小計		-	0 / 0	100%	1 / 1	0%	0 / 2	100%	4 / 4	71%	5 / 7
合計			90%	19 / 21	100%	5 / 5	71%	20 / 28	90%	9 / 10	83%	53 / 64

環境基準点は、新宮川水系の1水域2地点以外は1水域1地点

水系別の環境基準点における環境基準達成率は、大和川水系では90%（H26:86%）、紀の川水系では100%（H26:80%）と上昇、淀川水系では71%（H26:86%）、新宮川水系では90%（H26:100%）と昨年度より下降した。

水系別環境基準達成状況の推移

	環境基準点数	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
		達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数
大和川	21	76%	16	81%	17	86%	18	62%	13	86%	18	90%	19
紀の川	5	100%	5	80%	4	100%	5	100%	5	80%	4	100%	5
淀川	28	61%	17	46%	13	71%	20	39%	11	86%	24	71%	20
新宮川	10	80%	8	80%	8	50%	5	70%	7	100%	10	90%	9

(3) 水系別の水質の状況

水系別の河川水質の推移（河川環境基準点のBOD平均値 mg/l）

水系名	地点数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
大和川	21	3.2	3.2	3.0	3.4	2.8	2.8
紀の川	4	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0
淀川	26	1.2	1.3	1.1	1.3	0.9	1.0
新宮川	6	0.9	1.1	1.1	1.2	0.6	0.8

水系別の湖沼水質の推移（湖沼環境基準点のCOD平均値 mg/l）

水系名	地点数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
紀の川	1	1.5	1.6	1.6	1.8	1.8	2.0
淀川	2	3.7	3.6	4.0	3.8	3.8	3.6
新宮川	4	1.6	1.9	1.8	1.8	1.3	1.9

①大和川水系

河川の環境基準点21地点のBOD平均値は、2.8mg/l（H26：2.8mg/l）と昨年度の水質を維持している。また、奈良県と大阪府の県境であり、大和川最下流地点である藤井のBOD平均値は2.9mg/l（H26：2.5mg/l）と悪化した。環境基準値（5.0mg/l）以下であった。

地点名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
水系流末（藤井）	3.7	3.2	3.0	2.9	2.5	2.9
水系平均	3.2	3.2	3.0	3.4	2.8	2.8

②紀の川水系

河川の環境基準点4地点のBOD平均値は、1.0mg/l（H26：1.2mg/l）と改善した。

湖沼1地点のCOD平均値は、2.0mg/l（H26：1.8mg/l）と悪化した。

奈良県と和歌山県の県境に最も近く、紀の川最下流地点である御蔵橋のBOD平均値は0.6mg/l（H26：0.6mg/l）と良好な水質を維持している。

地点名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
水系流末（御蔵橋）	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
水系平均	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0

③淀川水系

河川の環境基準点26地点のBOD平均値は、1.0mg/l（H26：0.9mg/l）と悪化した。

湖沼2地点のCOD平均値は、3.6mg/l（H26：3.8mg/l）と改善した。

奈良県と三重県の県境に近く、淀川水系の主要な支川である宇陀川最下流地点である辻堂橋では、BOD平均値0.8mg/l（H26：0.8mg/l）と良好な水質を維持している。

地点名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
宇陀川流末 (辻堂橋)	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8
水系平均	1.2	1.3	1.1	1.3	0.9	1.0

④新宮川水系

河川の環境基準点7地点のBOD平均値は、0.8mg/l（H26：0.6mg/l）と悪化した。

湖沼の環境基準点4地点のCOD平均値も1.9mg/l（H26：1.3mg/l）と悪化した。

新宮川水系のうち、奈良県と和歌山県の県境に近く、熊野川（十津川）最下流地点の二津野ダム湖取水口では、BOD平均値は0.5mg/l未満（H26：0.6mg/l）と過去最も良い水質まで改善した。一方で、同じく県境に近い北山川最下流地点の小口橋では、BOD平均値は1.2mg/l（H26：0.7mg/l）と悪化し、環境基準を超過した。

地点名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
熊野川流末 (二津野ダム取水口)	1.1	1.5	1.5	1.6	0.6	<0.5
北山川流末 (小口橋)	1.0	1.5	1.2	1.4	0.7	1.2
水系平均	0.9	1.1	1.1	1.2	0.6	0.8